

from the world
世界の国から

キルギス共和国

Kyrgyz Republic

首都 ビシュケク
面積 約20万平方キロメートル
人口 516万人
政体 共和制
元首 クルマンベック・バキーエフ大統領
通貨 ソム



タライベック・コイチュマノフ氏

キルギス共和国大統領府附属投資会議事務局
事務局長

Mr. Talaiybek KOICHUMANOV

Head of the Secretariat

Secretariat of the Investment Council under the President of the Kyrgyz Republic



中央アジアの新興国からCISの電力基地へ

急速に進む自由経済化への対応

キルギスは周囲をカザフスタン、中国、タジキスタン、ウズベキスタンなどに囲まれた中央アジアの内陸国で、旧ソ連を構成していた15ヶ国のうち12ヶ国により結成されたCIS（独立国家共同体）に属する比較的新しい国です。しかしCISの中でも独自性・独立性が強く、上海協力機構に参加したり、CISの中で最も早くWTOに加盟したりと、様々な国や地域と緊密な関係を築き上げています。私の所属する投資会議は、EBRD（欧州復興開発銀行）の支援で新設された機関で、大統領が中心となって強力な自由経済のシステムを作りあげ、国の産業発展を目指しています。

今年11月、バキーエフ大統領来日時に開かれる投資セミナーの準備、また各省庁や企業との事前調整のために来日しました。今回は4度目の来日ですが、来る度にキルギスに対する日本企業の関心が高まっているのを感じます。

有望なエネルギー・鉱物資源

キルギスの代表的な産業は農業、畜産業、鉱業ですが、投資先として有望なのは、エネルギー分野です。特に水力発電は、試算では1420万キロワットの潜在性があると見積もられていますが、現在はその10%程度しか開発されていません。開発の余地が大きく残されており、これまで日本が培ってきた電力技術を活かした投資が可能です。

また、鉱物資源は金やアンチモンが主ですが、現在急成長を遂げているのが金の採掘です。ただ埋蔵量的には中小規模の金鉱が広い範囲に点在しているという状況ですから、採算性を考えると、精製などの技術導入に長けた企業が現地の法人と合併を組むという参入方法が適していると思います。

その他、山岳国ならではの観光業、穀物や牧畜、温暖な気候を活かした切花などに代表される農業への投資も有望です。ホテル建設や食品加工分野への外資参入も歓迎します。またモスクワからタシケントへと繋がる既存の鉄道他、中国を基点とした鉄道計画も進行中で、このルートが完成するとキルギスはヨーロッパと中国を繋ぐハブ地点としても注目されるでしょう。今後は交通インフラに関する投資も期待



イシククル州ジューク地区

しています。

中央アジア進出の入口として

世界銀行の調査では、他のCIS諸国と比べキルギスはビジネスの信用度、投資家保護などについて高い評価を得ています。その一方で、投資窓口の一本化や投資家に対する税金の減免措置を含むサービスの充実など今後の課題もあります。現在キルギスでは貧困層の半減とGDP成長率7%以上を目標とした3年間の経済開発計画を進めており、社会主義経済から自由経済、中央集権から地方分権へと移行する国家体制に応じてビジネスの可能性も広がってきています。

キルギスの経済規模は決して大きくはありませんが、ロシア、カザフスタン、ウズベキスタンといったCISの大国に進出する際の入口としてキルギスを活かしていただければと思います。



チュイ州のチューリップ畑